

動く→動かす 2016 年度第 1 回臨時総会 議事録

一. 日時

2016 年 5 月 11 日(水) 14 時から 16 時

二. 場所

JICA 地球ひろばセミナールーム 600

三. 出席者

ア) 参加正会員数

正会員数 39 団体(2016 年 5 月 11 日現在)。規約により、正会員数の三分の一の参加により総会は成立する(定足数:14)。これについて、以下の通り団体の参加があり、総会が成立した。

- ・出席 24 団体
- ・書面による表決 7 団体
- ・表決権の委任 6 団体
 - ・R 水素ネットワーク
 - ・関西国際交流団体協議会
 - ・テラ・ルネッサンス
 - ・チャイルド・ファンド・ジャパン
 - ・ミレニアム・プロミス・ジャパン
- 以上の団体が動く→動かす運営委員会議長に委任
- ・アデオジャパン
- 以上の団体が動く→動かす事務局長に委任

イ) 備考

上記参加正会員数のうち、出席正会員数は、総会開催中に入場および退出した団体も含めて合計したものであり、各表決時の現在数を表したものではない。総会開始時、議長選に先立って当会事務局長が現在数を確認したところ、35 団体(出席 22 団体、書面による表決 7 団体、表決権の委任 6 団体)の参加を確認したので、総会の成立が宣言された。それ以降、総会の終了まで、現在数が定足数を下回る状況は存在しなかった。

四. 総括結果小括

第 1 号議案<規約の改正>《承認》

五. 議事の経過の要領ならびにその結果

定刻より 5 分遅れ、動く→動かす事務局長の稲場雅紀は、運営委員会議長鶴見和雄の代理として総会の開会の意図を宣言し、上記の規約における総会の定足数にたる正会員の出席があったので、規約に照らし本総会は成立した旨を述べた。次に本総会の議長を募ったところ、正会員団体である教育協力 NGO ネットワーク(JNNE)の三宅隆史事務局長が立候補し、賛成多数で議長に選出された。また議事録署名人として WWF の山岸尚之とジョイセフの神谷麻美が選出され、一言ずつ挨拶の言葉を述べた。その後、運営委員会議長鶴見和雄より、臨時総会の開会宣言および総会の趣旨に関する象徴的な説明を行った。

- ・正会員数 39 定足数 14 団体 出席している正会員数 35 団体

1 セッション1 SDGs: これからの世界、これからの「動く→動かす」

議長は第 1 号議案「規約の改正」に関し、「動く→動かす」運営委員を務める根本悦子をファシリテーターに迎

えるとともに、同代表の今田克司、同事業統括チームのメンバーである大野容子、同事務局長の稲場雅紀をパネリストとし、ミレニアム開発目標(MDGs)から「持続可能な開発目標(SDGs)」時代に入ったことを踏まえ、「動く→動かす」が変化する必要性を考えるための説明を求めた。

根本は右 3 人の説明を踏まえ、国際協力 NGO センター(JANIC)事務局長の定松栄一に、コメントを求めた。これに対し定松より以下の回答があった。

- JANIC は平和で公正で持続可能な社会の実現を目標に掲げ、他セクターとの連携や協力強化を行ってきた。SDGs はこれらの道筋を示したものであり、ビッグチャンスととらえ、昨年今後の三か年計画について協議してきた。動く→動かすとの役割分担と連携に関しては、現時点では国内実施の政策枠組みづくりを動く→動かすが主導し、団体会員の多くが現場で事業を行っている JANIC は NGO が国際協力を行う中で SDGs を実施していくことに注力していくのが良いと思料するが、引き続き協議していきたい。

次に根本はパネリストに対し、以下の質疑を行った。

- 質問: 現在及びこれからの日本国内での SDGs の取組みに関する状況をどのようにとらえるか。
- 回答(大野): 企業をはじめとする他セクター、国会や省庁、市民社会を含むマルチステークホルダーによる推進体制を築く必要性を多くのセクターが認識している点が MDGs と大きく異なる。本年 5 月に行われる G7 伊勢志摩サミットは SDGs 採択後初めてのサミットであるため国内の認識が高まっていることを良かったと思うとともに、サミット後は世界で閣僚級、首脳レベルでのレビューが行われるため、そこで日本がいかなるかわりをするかが焦点となる。
- 回答(今田): サミット後の動きについては不透明な側面があるものの、トップダウンの体制構築に関して動く→動かすが行っているロビーイングが功を奏することも期待できると思料する。あわせて国際的な NGO ネットワークの流れの中での「動く→動かす」の役割を明確にしつつ、日本国内の活動を発信していくことで政府への刺激になればと考える。

これに関し、会場からは以下の質疑があった。

- 会場質問者: JNNE 三宅隆史
今後国際的な NGO ネットワークに「動く→動かす」がいかに関わっていくのか。
- 回答(今田): Action for SD には GCAP Japan として加入する予定でいる。アジアの RCEM に関しては広く開放されているところ、加入はいつでも可能である。
- コメント(Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS) 小池宏隆): Together 2030 は HLPF の議論を作っていく上で重要な位置づけであるところ、国際 NGO ネットワークへの加入を考える上では同ネットワークへの参加が戦略的であると思料する。
- 会場質問者: ハンガー・フリー・ワールド渡邊清孝
アジアのネットワークである RCEM に関し、今後動きがアフリカをはじめ広がっていく可能性はあるのか。
- 回答(稲場): UNESCAP と対話するフォーラムがあるが、これは国連ありきのものであるとともに、その方向性に関しては不明瞭である。アフリカでは国連が様々な活動をしているため、国連との対話の意義を議論するには発展していないが、NGO ネットワークが非常に発展しているところ、TICAD でもこうしたネットワークと連携して行っていく。

2 セッション 2 第 1 号議案「動く→動かす」規約の改正

議長は第 1 号議案「動く→動かす」規約の改正に関し、事務局長の稲場雅紀に改正の趣旨の説明を求めた。

稲場は現行の規約に関し、以下の改正を行うことを求めた。

- ① 本ネットワークは 2030 年に達成期限を迎える SDGs が達成され、誰一人取り残されることなく貧困がもた

らす生命や生活の危機及び社会的排除から解放され、人間として尊厳を持って生きることのできる、経済・社会、環境の三側面が調和した持続可能な世界の実現を目的とする。(規約2(1))

- ② 上記目標を達成するために必要な市民社会のネットワークの形成、及び日本国内の実施体制の整備。(規約2(2)a)
- ③ 【活動期限】本ネットワークは少なくとも 2017 年 3 月 31 日まで存続するものとする(規約2(4))
- ④ 【目的達成のために必要な組織改編】本ネットワークは2(4)で定めた日程までに、以下のことを行う。
 - a) 上記目的の実現のために必要な市民ネットワークのあり方及び本ネットワークの課題を定める。
 - b) 上記 a.で定めた課題を解決するため、総会を開催し、必要な規約の改正を行い、本ネットワークを、上記目的の実現のために 2030 年まで存続するネットワークとして改編する。

これに対し、会場より以下の質疑があった。

- **会場質問者:**WWF 山岸尚之
規約2(2)a に関し、「日本国内の実施体制の整備」との記述では、国内のみの活動という印象があるが、これで良いのか。あわせて、SDGs の達成期限が 2030 年となっているところで活動期限を 2017 年 3 月 31 日とするのは違和感を覚える。
- **会場質問者:**AARJapan 五十嵐豪
活動期限に関し、SDGs の振返りを踏まえれば 2031 年にしても良いのではないかと思料する。
- **会場質問者:**アフリカ日本協議会津山直子
今後「動く→動かす」の名前を変更することや、事務局がアフリカ日本協議会にあることに関し、広い議論をしていく予定はあるか。
- **回答(稲場):**「国内での実施体制」に関しては、動く→動かすは日本のネットワークであるため、他国の実施体制の整備はできないという事情がある。一方、HLPF に関しても関わるため、「及び国際的な」という文言を入れても良いと思料する。達成期限や名称等に関しては、2017 年 3 月 31 日までは「動く→動かす」の体制で行っていく。年度内にもう一度臨時総会を行い、再改編して 2030 年まで活動していくことを検討する。達成期限を 2031 年とすることに関しては、2030 年に判断することで良いと考える。

規約2(2)a に関し、運営委員並びに会場との議論の結果、規約2(2)a の文言に関しては、「上記目標を達成するために必要な市民社会のネットワークの形成、及び実施体制の整備」とすることに一致するとともに、本文言にて総会議決をとることを決定した。

- **会場質問者:**ジョイセフ神谷
「動く→動かす」は SDGs 市民社会ネットワークの事務局も担っているが、新たに SDGs に関わることを希望する団体があった場合、両者をいかにすみ分けるのか。
- **回答(今田):**SDGs 市民社会ネットワークはポスト 2015 プラットフォームを格上げしたものであるが、動く→動かすとの関係性を明確化するために今後一定のプロセスが必要という認識でいる。本臨時総会にて規約の承認が得られれば、規約2(5)にて整理していくこととなる。一方、SDGs 市民社会ネットワークは世話人を分野別に設けているところ、今後世話人会が機能していくことになると思うので、動く→動かすとして世話人会とも相談していく。個別 NGO の SDGs 市民社会ネットワークへの加入に関しては、今後、この世話人会の方針によるものと思う。

議長は次に、第 1 号議案についての採決を行った。

・現在数(表決権を委任した団体を含む)の確認

正会員数 39 団体

本日出席している団体数 24 団体

書面による表決団体数 7 団体

表決権を委任した団体 6 団体

合計 37

第一号「規約の改正」: 37 票

上記採決結果の通り、第 1 号議案は承認された。

六. 閉会宣言

議長は本臨時総会で提案された議題が承認されたことを確認し、総会の終了を宣言した。

議事録の作成に関わる業務を行った運営委員の氏名

稲場 雅紀 (動く→動かす 事務局長)

議事録の記名押印

本議事録が真正なものであることを証明するため、以下の総会出席者が本議事録に記名押印する。

2016 年 5 月 12 日

動く→動かす 2016 年度第 1 回臨時総会

議事録署名人 (所属団体名)

公益財団法人 ジョイセフ

(氏名)

神谷麻美 

議事録署名人 (所属団体名)

公益財団法人 WWFジャパン

(氏名)

山岸 尚久 